

アフターデスティネーションキャンペーン

姫路城の東側に位置する地形と城郭の構造を  
利用した高度な防御力をもつ<sup>からめて</sup>搦手周辺を公開

# 姫路城 特別公開

9/1日  
2024  
30月

「どの四門」から入城及び再入城はできません。  
特別公開エリアは、原則一方通行となり、「どの四門」から  
ご退城いただきますので、西の丸及び  
お菊井戸の見学は先にお済ませください。

## 料金

大人・小人(小中高生)ともに200円 ※別途入城料が必要

※入城料: 大人1,000円・小人300円

団体料金(30名以上) 大人800円・小人240円

## 受付時間

9:00~16:30

(最終入城16:00 閉城17:00)

## 受付場所

「井郭櫓(いのくるわやぐら)」

どの櫓(きぐら)・どの一門

どの櫓(きぐら)内部

どの二門

枡形(ますがた)

どの四門

長壁神社遺跡(おさかべじんじゃ)

特別公開みどころ



トの櫓(やぐら)



との一門



との四門



長壁神社遺址(おさかべじんじやし)



枅形虎口(ますがたこち)

**トの櫓(やぐら)** 東側と南側に開いている2つの格子窓から、との二門に向けて射撃する必要があるため、窓の下に床板を張って高くし、有効な射撃ができるようにしていると思われる。

**枅形虎口(ますがたこち)** 搦手道(からめてみち)には、との一門・との二門で構成された枅形(ますがた)が残っている。姫路城では枅形(ますがた)の2つの城門と土塀が残っている唯一の例。

**長壁神社遺址(おさかべじんじやし)** との二門東側にある北向き石段の上の平場には、姫山の地主神・長壁神社が祀られていた。現在は「長壁神社遺址(おさかべじんじやし)」の石碑がある。

**との一門** 姫路城に残る櫓門で白漆喰を塗っていない唯一の門。「昭和の大修理工事」までは白漆喰が塗ってあったが、解体してみると当初は塗っていなかったことが判明したため、元のとおり素木造り(しらきづくり)に戻された。秀吉が自身の権威を示すため、姫路城の北にあった置塩城(おじおじょう)から移築したものであるとの説もある。

**との四門** 姫路城の東側に位置する。かつては門の内側に穴蔵(あなぐら)が設けられ、火薬が収蔵されていた。

【ご利用案内】 観覧料 大人・小人200円 ※別途下記姫路城入城料が必要です

区分	個人料金(30人未満)	団体料金(30人以上)	備考
入城料	大人 1,000円 小人 300円	800円 240円	18歳以上の方 小学生・中学生・高校生

※小学校就学前は、無料です

※姫路城・好古園共通券 大人/1,050円 小人/360円

開城時間 9:00~17:00(最終入城16:00)

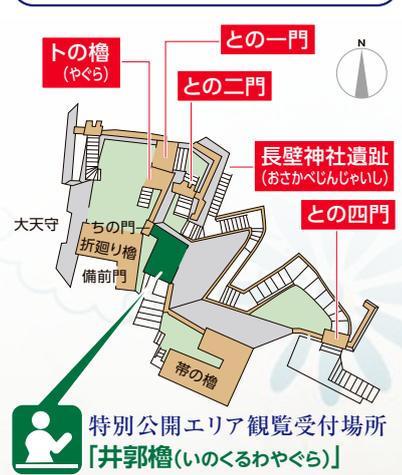


姫路城便覧

姫路城の情報をリアルタイムにお届けしています。姫路城への旅行計画にどうぞ活用ください。



公開エリア周辺地図



姫路城入城記念に「姫路城御城印」 料 金: 300円 販売所: 姫路城売店(出改札横)

現在販売中の御城印デザインは、姫路城世界遺産登録30周年記念として、現在の姫路城の基礎を築き、姫路市民にもなじみ深いと思われる池田家の揚羽蝶の家紋をモチーフとして制作されました。デザインの一部は特殊印刷を施し、光の当たり具合により模様浮かび上がる特別仕様となっています。姫路城に来城された際には是非記念にご購入ください。

また、アフターDCの開催を記念し、「神戸・姫路夏の体験デジタルパス」(KANSAI MaaS及び tabiwaにて発売)、「ひょうご夏の体験デジタルパス」(tabiwaにて発売)を利用し入城された方を対象に、ノベルティとして特別御城印を配布予定です。



姫路市立美術館 隈研吾流 オノマトペで見る建築 姫路編 9/21(土)▶11/17(日)

隈研吾が自身の建築作品をマケットや写真、素材で紹介しつつ、姫路城、書寫山園教寺、姫路市立美術館という姫路の「三大建築」の魅力をつんつん、「ばらばら」といった「オノマトペ」を使って紐解きます。隈研吾流姫路建築マップの配布や、「休憩すづくり」のワークショップも開催予定。今までにない姫路の建築の魅力を深堀りします。



「つんつん」の参考事例(GC プロソミュージアム・リサーチセンター, 2010, 愛知 ©Daici Ano) 「ばらばら」の参考事例(橋原 木構ミュージアム, 2010, 高知 ©Takumi Ota)

開場時間 10:00~17:00(最終入場16:30)  
料 金 一般:1,400(1,200)円・大高生:800(600)円・中小生:400(200)円 ※ ( )内は20人以上の団体料金  
休 館 日 月曜日、9/24(火)、10/15(火)、11/5(火) ※9/23(月・振休)、10/14(月・祝)、11/4(月・振休)は開館  
お問合せ 姫路市立美術館 TEL.079-222-2288

姫路市立美術館 書寫山園教寺 園教寺 ×隈研吾 (書寫山園教寺) ワークショップ期間: 4/20(土)▶6/15(土) 展示期間: 6/16(日)▶12/1(日) 生き延びるためのデザインワーク: これからの用の美



西の比叡山と呼ばれる名刹・書寫山園教寺では、世界的建築家である隈研吾が、摩尼殿と三之堂に触発されたパビリオン《くぎくも》制作と、「はづき茶屋プロジェクト」を展開します。市民参加によるワークショップも開催します。



パビリオン《くぎくも》イメージ 隈研吾氏 ©J.C.Carbonne

料 金 無料(園教寺拝観志納金 別途要)  
定 休 日 会期中無休(天候により中止になる場合があります)  
お問合せ 姫路市立美術館 TEL.079-222-2288 ※詳細はホームページをご覧ください。

書寫山園教寺 書寫山園教寺 寺宝 『播州書寫山縁起絵巻』の特別公開と絵解き説法 7/1(月)▶8/11(日・祝) 8/18(日)▶9/30(月)



姫路市書写にある天台宗別格本山(西国三十三所第27番札所)「書寫山園教寺」。寺宝である「播州書寫山縁起絵巻」(長さ約23m)には国の重要文化財の「摩尼殿(如意輪堂)」建立由来の情景もあり、今回特別公開いたします。園教寺の開祖である性空上人(しょうくうしようにん)の誕生から入寂までの情景を僧侶による絵解き説法で見学します。

開場時間 9:00~16:30  
絵解き説法は11:00/13:00/15:00に実施。(各回1時間程度) 上記以外の時間は動画配信による解説もお楽しみいただけます。

料 金 特別拝観料2,000円※志納金別途要 (「絵解き説法なし・動画解説付き観覧」の場合は1,000円)  
定 休 日 会期中無休(天候により中止の場合あり)  
お問合せ 書寫山園教寺 TEL.079-266-3327

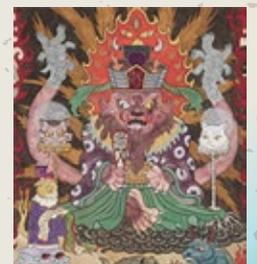
歴史的貴重文指紙記述・絵巻にちなんで特別御朱印の授与(販売)予定

期間中のイベント案内

姫路文学館 石黒亜矢子展 ばけものぞろぞろ ばけねぞろぞろ 9/14(土)▶11/24(日)

化け猫や妖怪、想像上の生き物を、日本画を想起させる流麗な筆致で描きだす絵描き・石黒亜矢子。本展では、画業最初期の妖怪絵から絵本原画、最新の書き下ろし作品まで展示し、色彩豊かで愛らしく、ユーモアたっぷり、ときにちょっぴり不気味な表情の生き物たちが息づくあやかしの世界へ誘います。

開場時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
料 金 一般1,000円・大学・高校生580円 中学・小学生280円  
休 館 日 月曜日、9/17(火)、24(火) 10/15(火)、11/5(火) ※9/16(月・祝)、23(月・振休) 10/14(月・祝)及び11/4(月・振休)は開館  
お問合せ 姫路文学館 TEL.079-293-8228



《地獄十王図》(部分) 2022年 ©Ayako Ishiguro